

折に触れ 四字熟語

NO. 35 『妄言綺語』 もうげん きご

< 意味 > 仏教で、でたらめのことを言って、嘘をつくこと。また、そのことば。

< 出典 > 「無量寿経」下

両舌悪口妄言綺語、讒賊鬪乱。憎嫉善人、敗壞賢明。

読み下し：『りょうぜつ両舌、あくく悪口、もうご妄言、きご綺語をもって、(他人を)ざんぞく讒賊しとうらん鬪乱す。善人をぞうしつ憎嫉し、賢明(の人)を敗壞す。』

語 釈：讒賊一人をそしり害すること。鬪乱一人々を仲たがいさせて争わすこと。

仏教の十悪の二つからなつた四字熟語です。「ぼうげん きご」とも読みます。

仏教で10項目からなる善の戒めを十善戒と言います。「不殺生」「不偷盗」「不邪淫」「不妄言」「不綺語」「不悪口」「不両舌」「不慳貪」「不瞋恚」「不邪見」です。

十悪とはその十善戒の各項目から不を取つたものです。

「殺生」生きものの生命を奪う。

「偷盗」与えられていない他人の財物を取る＝盗み。

「邪淫」よこしまな男女の交わり。

「妄言」嘘をつく。でたらめを言う。

「綺語」無意味、無益なことを言う。

「悪口」他人を傷つける言葉。陰口、中傷。

「両舌」他人の仲を裂く言葉。

「慳貪」財物などをむさぼり求める。異常な欲。

「瞋恚」いかり憎む。

「邪見」誤つた見解。

一言：4月1日はエイプリルフールなのでこの四字熟語を選びました。国会では森友学園問題の証人喚問が行われました。双方の言うことがまっこうから対立しているのですから、どちらかが嘘を言っていることになります。真実は明らかにされるのでしょうか。

参照文献：岩波文庫「浄土三部経」上(大無量寿経) 大修館書店「四字熟語辞典」